

元総代長水口満夫さんご往生



水口満夫さん

去る九月十一日、西教寺元総代長の水口満夫さんがご往生されました。退職後すぐから八十歳までの長い間、長ノ木本坊法座の帳場を務められ、長ノ木本坊総代、その後宮田信夫さんの後任として西教寺総代長に就任、長ノ木本坊本堂修復委員長として、バブル後の未曾有の大不況と芸予大地震の逆風の中、本坊の本堂を粘り強く見事に修復してくださいました。穏和で誠実、お念仏を深く喜んでおられました。長く惣付地区のお世話人をされた貞子さんとともに、ご夫婦で毎月法座にお参りになられ、一番前でお聴聞されました。身を粉にしてご法義繁盛のためご報酬くださいました。心よりお礼申し上げます。法名釋慶念(院号 成満院)、行年九十五歳。

自死に向き合う

安芸南組(近隣六十ヶ寺)連続研修会は、去る十月十二日、「自死に向き合う広島僧侶の会」代表の石田博文先生を迎え、公開講演会を開催しました。先生は、「あなたと共に」と題し、自身も自死遺族である立場から、経験を交えながら自死への向き合い方についてお話。先生が代表の同会では、奇数月の第二木曜日十五時〜十七時まで、本願寺広島別院(広島市中区寺町)で「いのちの集い(自死遺族の分かちあいの集い)」が行われています。(お問い合わせ・広島別院 082-231-0302)



石田博文先生(写真右)

原発問題の今とこれから

―念仏をいただく母として―



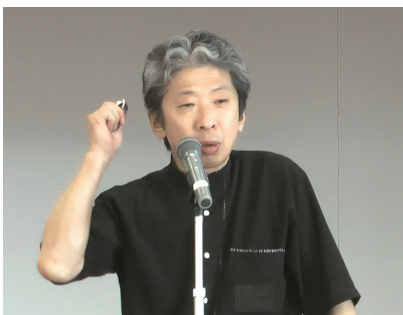
石橋寿美(釋純誓)先生

福島原発は、いまだに水をかけるだけでコントロールできない現状。被害・避難者の今、広がる汚染状況。私たちはどうなるのか、どうすべきなのか。去る十月十六日、環境市民の会会員で門徒推進員の石橋純誓先生にお話をいただきました。聞くのと、近くの伊方原発で事故が起こると、呉市は四ミリシーベルトの放射線量(防護服を着けても長時間とどまらない量)となるそうです。純誓さんは、呉市が市民の安全を守ってくれるよう四国伊方原発と安全協定を結ぶ署名活動もされています。ご協力いただける方はお寺か石橋純誓さん(TEL七四一九二二)まで。

九条を守る音楽と講演

―小森陽一先生―

去る十月十三日、九条の会呉地区連絡センター主催で、小森陽一先生(東大大学院教授・全国「九条の会事務局長」)のお話を聞きました。この連絡センターは、呉の芸術家、マスコミ、教員など、さまざまな九条の会が集まり、二〇〇六年に前任職(岩崎正衛)や信楽峻鷹(元龍谷大学学長・安楽寺前住職)先生らを発起人として発足、以後毎年音楽と講演の集いを開催しています。現在は、浄土真宗本願寺派安芸教区(五百ヶ寺)安芸門徒九条の会呉支部として参加しています。もう私たち日本人は誰も殺しません。殺されません。



小森陽一先生